

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社しなの富士通							
代表者名	氏名	西村 浩二	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県飯山市大字野坂田935番地							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業						
主たる事業の概要	コネクタ、キーボード、サーマルプリンタ等の製作とそれらの製品に伴うプレス・モールド成形、基盤への実装							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1969	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	8	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

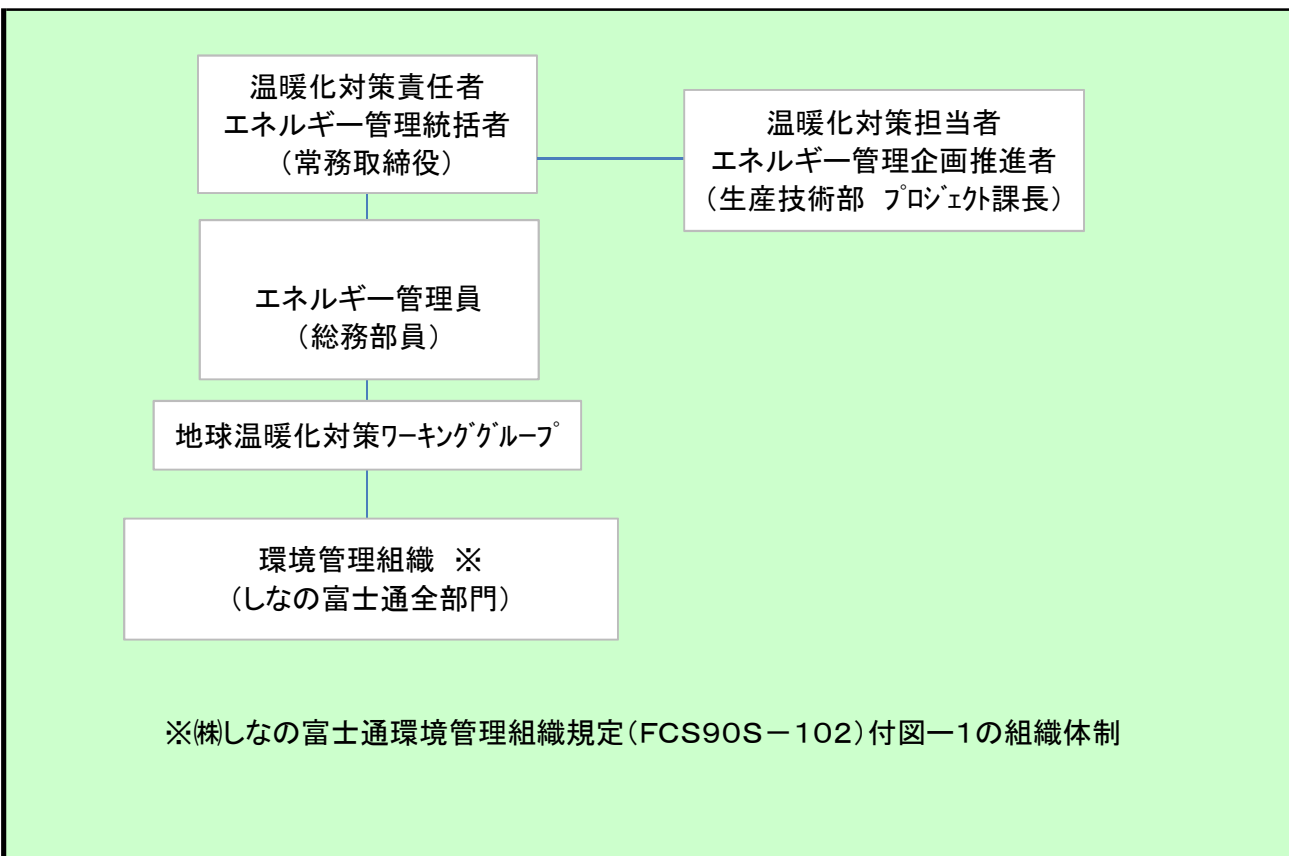
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	玄関ホールに閲覧用印刷物を配置 印刷物管理部署：総務部 印刷物閲覧可能時間（平日のみ）：9：00～17：00
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

富士通コンポーネント環境方針
当グループは、富士通グループの一員として、地球環境保全への取り組みを最重要課題であると認識し『環境を大切に、より良い企業活動を行うこと』を理念とし、コンポーネント製品の開発、設計、製造、販売を行なう企業であることを踏まえ、低炭素で豊かな社会の実現に向けて、ISO14001に準拠した環境マネジメントを推進する。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,932	t-CO ₂	生産額	1,200	単位	千万円	
25年度	調整後排出量	2,886	t-CO ₂	基準原単位	3.28	t-CO ₂ /	千万円	
目標年度	目標排出量	3,770	t-CO ₂	目標原単位	3.14	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	4.12	%	目標削減率	4.26	%		
目標設定に関する説明	<p><目標値の設定手順> ①生産量を予測し必要なエネルギー量を試算 ②新たなCO2削減策がない場合のCO2排出量を試算 (CO2排出量試算値) ③CO2排出削減計画から年度毎のCO2排出削減量を集計 (CO2削減計画量) ④目標排出量=CO2排出量試算値-CO2削減計画量</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する (以下同じ)。
第一年度	排出量	3,987	t-CO ₂	生産額	1,337	単位	千万円	
	調整後排出量	3,957	t-CO ₂	原単位	2.98	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
26年度	削減率	(1.40)	%	削減率	9.14	%		
排出量等の増減理由	生産量増に伴い比例的に排出量も増大した 製品価格の低下、付加価値生産額の減少、出荷・販売金額の減少 市場ニーズ対応(小ロット多品種化)							
第二年度	排出量	3,977	t-CO ₂	生産額	1,348.00	単位	千万円	
	調整後排出量	3,955	t-CO ₂	原単位	2.95	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
27年度	削減率	(1.15)	%	削減率	10.06	%		
排出量等の増減理由	生産量増に伴い比例的に排出量も増大した 経済情勢の変化対応(為替変動、市場ニーズ対応) 製品価格の低下、付加価値生産の減少							
第三年度	排出量	4,082	t-CO ₂	生産額	1,470.00	単位	千万円	
	調整後排出量	4,051	t-CO ₂	原単位	2.78	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
28年度	削減率	(3.82)	%	削減率	15.24	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	生産量増に伴い比例的に排出量も増大した 経済情勢の変化対応(市場ニーズ対応)							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	29	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320301 発熱設備への断熱ジャケット設置 半田DIP槽、恒温槽への設置推進	H26	24	H26	24
2	エネ起	360799 同出力コンプレッサへの更新(空冷75kwで統一)	H26	40	H27	46
3	エネ起	330202 スプレー式加湿の導入	H26	25	H27	17
4	エネ起	350699 高効率受電トランスの更新	H27	5		
5	エネ起	380752 メタハラ灯からLED灯に更新	H27	5	H26	5
6	エネ起	380752ナトリウム灯からLED灯に更新	H28	3	H26	2
7	エネ起	320206 DIP槽タイマー設定変更(JIT化)			H26	0.1
8	エネ起	330299 3番館2階北側空調機入れ替え			H27	26.7
9	エネ起	330299 3番館屋根遮熱塗装			H27	14.2
10	エネ起	410701 不要設備の電源OFF			H27	10

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書(熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1,046		30	22	31
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
11	エネ起	410701 長期連休の電源OFF			H27	10
12	エネ起	380752 水銀灯からLED灯へ変更			H28	0.6
13	エネ起	330207 排気ファンの夜間及び休日の停止			H28	13
14						
15						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1046		30	22	31
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0	0						
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,932	1	3,987	1	3,977	1	4,082
1,500k1未満	0	0						
合計	1	3,932	1	3,987	1	3,977	1	4,082

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	7	7	8	8
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	ISO14001未取得取引先へFJEMS（富士通グループ環境マネジメントシステム）を提供

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	会社行事（工場周辺清掃活動等）へは相乗り参加を呼び掛けている。 マイカー通勤率は90.5%（498人中451人マイカー通勤）
公共交通機関の利用促進	公共交通機関が不便の為、非常に厳しいが会社行事等への参加者には、出来るだけ公共交通機関を利用するよう呼びかけている。
来客者の交通対策	遠方からの来訪予定者に対し交通案内（長野電鉄ダイヤ、飯山線ダイヤ、飯山駅からの地図提供）を行っている。
物流の合理化	各社独自で運送便を手配及び運搬をしていたが、ルート便（往復便）を運行させることで走行車両の削減を行っている。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	1995
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	①廃棄物の削減 ②取引先とのCO2排出量削減の推進（グリーン調達活動）	
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策WG会議開催 中間期の外気冷房運転実施 クールビズ（冷房時28℃設定）、ウォームビズ（暖房時20℃設定）実施の活動推進 冷房負荷軽減として、屋根のブルーシート設置及び遮熱塗料の実施 生産設備のエア漏れ点検 未稼働設備の電源OFF 事務所の個別空調化 	
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 同出力コンプレッサの更新（空冷75kwで統一） 3番館屋根遮熱塗装 	
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> サンシェード設置場所の追加 室外機へのヨシズ取付の全機適用 	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	①大型空調機の水冷式から空冷式への更新②工場内の発熱装置の排熱利用による暖房③圧気のループ配管④発熱設備への断熱ジャケット装着他⑤屋根の散水	1,252
その他		